

## 血中ビタミンD低値は早死と関連

これまでの研究により、血中ビタミン濃度の低値は乳がんやその他のがん、心臓血管病のリスクの上昇と関連することが示されている。そこで本研究では、血中 25 - ヒドロキシビタミンDと死亡との関連について検討した。

1966年から2013年までの医科学的文献のデータベースから、25 - ヒドロキシビタミンDについて評価している文献を検索し、32件が該当した。それらを分析した結果、血中 25 - ヒドロキシビタミンD濃度が低い群(9 ng/mL以下)では、高い群(>30 ng/mL)と比べて死亡率がおおよそ2倍高かった。また、血中 25 - ヒドロキシビタミンD濃度が30 ng/mL以下であると、30 ng/mLより高値の場合と比べて死亡率が有意に上昇した(P<0.01)。

以上の結果より、血中ビタミンDの低値は早死と関連し、血中 25 - ヒドロキシビタミンD濃度が30 ng/mLよりも高値であれば死亡率が低下することが示唆された。

出典：American Journal of Public Health. Published online before print June 12, 2014: e1-e8.